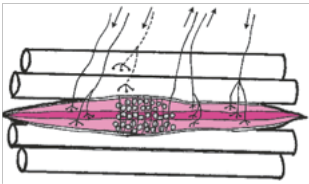
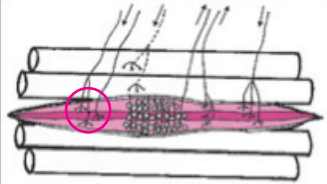
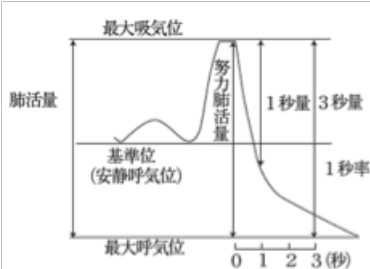
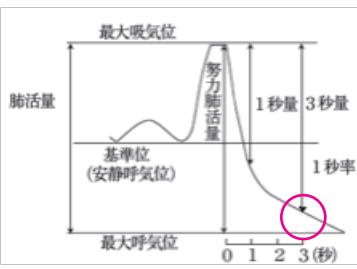
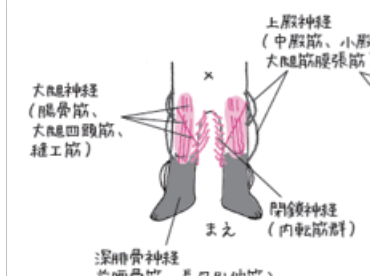
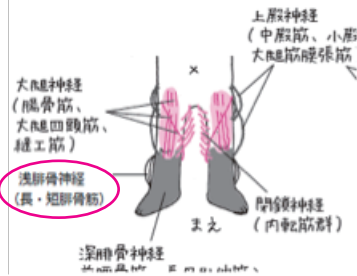


理学療法士作業療法士国家試験 合格テキスト 共通分野これ1冊!! 正誤表
 ※最新の正誤表はホームページにてご確認下さい (http://www.kumi-web.co.jp/) (2015年6月24日現在)

該当頁	該当箇所	誤	訂正・補足
1章 解剖生理学			
p. 3	一番下の行、および枠内	下垂体 前葉 、副腎皮質	下垂体 後葉
p. 7	下から6行目	※胸鎖関節は 半月 円板を持ち、～	※胸鎖関節は 関節 円板を持ち、～
p.12	筋紡錘の図		 動的γが、核鎖線維と核袋線維につながっている。
p.15	下から2行目	心軸は前下方から後上方に向かう。	心軸は 左前 下方から 右後 上方にに向かう。
p.33	十二指腸と膵臓・胆嚢の図 ※の説明文	※膵尾は 膵臓 に接する	※膵尾は 脾臓 に接する。
p.38	下から12行目	胆汁の導管で、左右の 胆管 がある。	胆汁の導管で、左右の 肝管 がある。
p.41	上から1行目	左右の主気管支、右 2本 、左 3本 ～	左右の主気管支、右 3本 、左 2本 ～
p.43	努力呼出曲線の図		 3秒量のラインを修正
p.44	枠内(長期臥床による無気肺)	肺の 肺側 (下葉側)に～	肺の 背側 (下葉側)に～
p.49	腎小体と尿細管の図の枠内	ヘンレ係蹄は 骨髄質 にあるよ。	ヘンレ係蹄は 腎髄質 にあるよ。
p.51	下から10行目	平均排尿量は 個人差が大きい が、約200～	平均排尿量は、約200～
p.61	脊髓の横断面の図中	前枝 後枝	後枝 前枝
p.63	下から4行目	半球は 体幹 、四肢の～	半球は四肢の～
p.65	枠内(記憶の中樞)	～長期記憶、陳述記憶関係する。	～長期記憶、陳述記憶 に 関係する。
p.69	下から13行目	年齢が若いほど 徐派 は多くの～	年齢が若いほど 徐波 は多くの～
p.71	腕神経叢の図中	肩甲 状 神経	肩甲 上 神経
p.74	下肢筋の支配神経の図		 浅腓骨神経(長・短腓骨筋)を追加
p.80	錐体路と錐体外路の図	錐体路 錐体外路	錐体外路 錐体路
p.88	枠内(血漿カルシウムの調整)	上昇させる方法として、① 骨芽細	上昇させる方法として、① 破骨細
p.91	下から18行目	～フルクトース、 ラクトース ～	～フルクトース、 ガラクトース ～

2章 運動学		
p.120	脊椎の靭帯の図中	後縦靭帯：椎体の 前面 を結ぶ 後縦靭帯：椎体の 後面 を結ぶ
p.121	下から4行目	男性56%、女性 56% の位置で～ 男性56%、女性 55% の位置で～
p.123	上から4～5行目	小児では成長に伴って 歩行速度が上がるため歩行率は上がる。 小児では成長に伴って 身長が高くなり歩幅が大きくなるため歩行率は下がる。
P127	床反力(立脚相)の図	 <p>「内」「外」「後」「前」「左右分力」「前後分力」「垂直分力」を追加</p>
3章 病理学		
p.134	表中の鎌状赤血球症	常染色体劣性遺伝ではなく、常染色体優性遺伝へ
p.145	下から18行目	直接 感染 垂直 感染
p.148	粹内(聴神経腫瘍)	聴神経 腫瘍 聴神経 鞘腫
4章 内科学		
p.164	下から15行目	～加えて過食、 糖尿病 、運動不足、～ ～加えて過食、運動不足、～
5章 神経内科学		
p.169	下から9～10行目	筋電図は低振幅となる。 を削除する。
p.171	感覚障害の表	イラストの黒塗り部位は深部感覚障害、赤塗りの部位は温痛覚障害となります。 を追加する。
6章 整形外科学		
p.185	下から16行目	CRPS タイプ II CRPS タイプ I
p.192	2. 靭帯損傷 粹内	足関節の 内側 にある前距腓靭帯 足関節の 外側 にある前距腓靭帯
実力確認テスト		
p.260	問題 20	図で示している部位 は何か。 図で示している部位 で正しいのはどれか。
p.265	問題 53	2. MRSA は強毒 筋 ～ 2. MRSA は強毒 菌 ～
p.270	解答 問題 14	4 1, 4